

平成 21 年度～23 年度 習志野市事務事業評価表

1. 事務事業基本情報

事業名	No.63 こども園整備事業			担当課	こども政策課・こども保育課		予算費目名	款 3	項 2	目 1(4)
事業概要 及び目的	就学前の子どもの育ち・子育てを支援するため、保育所児・幼稚園児と一緒にして保育・教育を行う（合同保育）と共に、在宅で子育てをする家庭の支援をするためのこどもセンター機能を備えた「こども園」を 26 年度までに 3 箇所整備する。（1 箇所は整備済み、最終的には市内 7 ヶ所を整備） また、市立幼稚園・保育所の再編及び私立化に取り組む。	成果 目 標	成果指標 平成 26 年度までの目標 こども園の数 市立→私立化する幼稚園・保育所の数 こども園 3 園 60% 私立化した幼稚園 2 園 20% 私立化した保育所 2 所 20%	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度		
				予算額（単位：円）	1,567,520	18,041,000	97,383,020	773,740,000		
				決算額（単位：円）	1,290,464	8,843,980	41,828,045			
				従事職員数	2人	2人	2人			
事業の 位置づけ	章 1	豊かな人間性と暖かさを育むまち	★左記施策（号）との結び付き こども園は、通常保育のほか、在宅子育て家庭への支援のためのこどもセンターの併設、産休明け保育や一時保育の実施など、子育て支援の中核施設として機能し、就学前の子どもの育ち・子育て支援となる	従事延べ日数	273	584	156			
	節 2	保健・医療・福祉環境の整備		民間活力の導入	現状は？：□実現している □将来可能性はある ■将来困難だが可能性はある □余地なし 相手は？：□市民 □市民活動団体 ■企業・学校等 形態は？：指定管理者など					
	項 3	高齢者福祉・障害者福祉・児童福祉などの充実								
号 3	子育て・子育て支援施策の充実									

2. 進捗状況

				平成 21 年 7 月 30 日記入					平成 22 年 6 月 7 日記入					平成 23 年 4 月 22 日記入
年度	21 年度評価（20 年度実施した事項についての評価）				22 年度評価（21 年度実施した事項についての評価）				23 年度評価（22 年度実施した事項についての評価）					
実施計画上の予定	検討	実施計画の予定 年度終了後	検討終了	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	—	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由	実施計画 上の予定	—	実施計画の予定 年度終了後	実施	★継続している事項、 未着手事項がある理由
完了した事項	・習志野市こども園整備・市立幼保再編検討委員会から最終答申書の提出			再編検討委員会からの最終答申書の提出が年度末となったため	・再編計画の策定			市内 2 箇所目となる（仮称）杉の子こども園の建設に向けた設計に着手	・（仮称）杉の子こども園の実施設計			（仮称）杉の子こども園の建設工期が、平成 22 年度・23 年度にわたるため		
継続している 事項	・再編計画の作成				・（仮称）杉の子こども園建設に向けた設計				・杉の子幼稚園の仮園庭整備					
未着手事項	・再編計画の策定								・（仮称）杉の子こども園の建設工事					
改善案				成果指標				成果指標				成果指標		
				実績値 こども園	達成率 1 園 20%				実績値 こども園	達成率 1 園 20%				実績値 こども園

3. 今後の方向性

※課内協議を経て管理職が記入してください。

				平成 21 年 7 月 30 日協議実施					平成 22 年 6 月 7 日協議実施					平成 23 年 4 月 22 日協議実施
今後の方向性	成果の方向性	拡充	○										○	
	現状維持													
*根拠欄は、なぜその「成果の方向性」を選んだか？なぜその「コストの方向性」をえらんだか？別紙「評価の視点」を参照してください。	縮小													
	休廃止													
		休廃止	縮小	現状維持	拡充									
	コストの方向性				コストの方向性				コストの方向性					
	★上記を選択した根拠 21 年度は前年度の再編検討委員会の答申を受けて再編計画の本体を策定・公表、そして実施する年度であることから成果の方向性は「拡充」に、一方で検討委員会の活動は前年度に終了しているのでコストの方向性は「縮小」とした。				★上記を選択した根拠（仮称）杉の子こども園建設に向けた設計に着手したことから成果の方向性は「拡充」とし、コストの方向性についても「拡充」とした。				★上記を選択した根拠（仮称）杉の子こども園の建設に着手したことから、成果、コストの方向性とも「拡充」とした。					
方向性を実現するため実施すること（改革案）	検討委員会の答申を尊重しながら再編計画（案）を策定し、パブリックコメントや保護者・市民への説明会を実施する中で、教育委員会会議や福祉問題審議会の了解をいただいた上で、市の計画として決定し、実行へ移したい。				再編計画に基づき、こども園の整備を着実に進める。				再編計画に基づき、こども園の整備を着実に進める。					
前年度改革案の実施状況	□実施 □一部実施 □検討中 ■その他 ★実施以外は具体的に記載してください。本事業については、昨年度現在で検討段階にあり、改革案の該当が無いとしていたため。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。				■実施 □一部実施 □検討中 □その他 ★実施以外は具体的に記載してください。					